

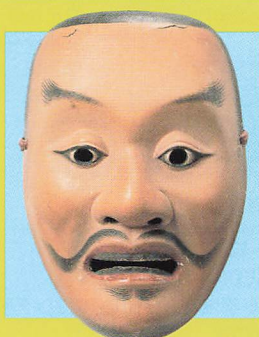
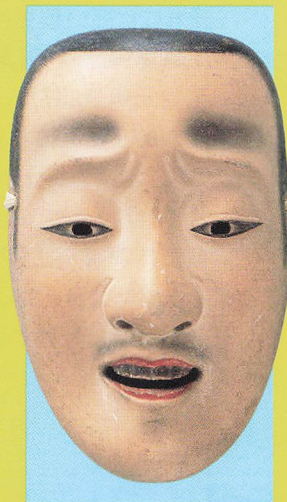
男の美術

をそこ

「隨身庭騎絵巻」

国宝

2006年
6月3日(土)～7月30日(日)
大倉集古館



財団法人 大倉文化財団 大倉集古館
OKURA MUSEUM OF ART
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3
(ホテルオークラ東京本館正面玄関前)
TEL03-3583-0781
<http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/>

アメリカ大使館

豊洲

大倉集古館

ホテルオークラ東京本館

ホテルオークラ東京別館

東京メトロ 日比谷線 神谷町駅より7分
銀座線 虎ノ門駅より10分
銀座線・南北線 溜池山王駅より8分
南北線 六本木一丁目駅より5分



名将肖像図帖(部分) 織田信長



名将肖像図帖(部分) 明智光秀



洞窟の頼朝 (前田青邨筆)

ずいじん

隨身とは、貴族が外出する際に警護にあたった近衛府の官人を指します。

それには高い教養と優雅な美貌が求められたと云います。

大倉集古館の「隨身庭騎絵巻」(鎌倉時代)は平安末期及び

宝治元年(1247)に実在した隨身9名を描いたもので、

理知的な写実描写を旨とする似絵の代表的作例であり、

さらに年期の特定できる重要性等から国宝に指定されております。

この特別公開を中心に、酒井抱一筆「五節句図」などにみる宮廷の美男、

前田青邨筆「洞窟の頼朝」(期間限定)や刀剣・名将の肖像を通して浮かび上がる武者の美学、

また信仰に身を投じた宗教者や江戸の市井の人々の姿など、

日本美術に登場する人物像の諸相を、「男の中の男」をキーワードに展覧する試みです。



融通念仏縁起絵巻(部分)

男をとこの美術

隨身庭騎絵巻

国宝

2006年
6月3日(土)～7月30日(日)
大倉集古館

主催：大倉集古館
協力：(株)ホテルオークラ東京

開館時間：10:00～16:30 (入館は16:00まで)
休館日：月曜日(休日の際は開館)

入場料：一般 800円
大学生・高校生・65才以上 500円
小・中学生無料
(20名様以上の団体は100円引き)
土・日曜の高校生以下の児童・生徒並びに同伴の両親・教師は無料
障害者並びに付き添い1名は無料

* ホテルオークラとのセット鑑賞券(優待券との併用はできません。)
喫茶券 1600円/食事券 3200円

次回展示のお知らせ

8月3日(木)～10月1日(日)
館蔵日本美術による Gold～金色が織りなす異空間

日本美術は金色を多く用い、その光沢が織りなす視覚効果は、神秘的に、華やかに、時には妖しく見る者を異空間へと誘います。本展では、仏教や神道の美術にみる聖なる光としての金色、調度や衣装を彩る意匠としての金色、あるいは日常から切り離された特別な場を演出する金屏風という3つのテーマに分けて、その魅力を探ります。なお、期間中には国宝「古今和歌集序」を特別公開(期間限定)する予定です。

主な展示品(会期中、展示替・場面替を行います)

国宝「隨身庭騎絵巻」鎌倉時代

「空也上人絵伝」室町時代

「融通念仏縁起絵巻」室町時代

重要美術品「聖徳太子勝鬘經講讃図」鎌倉時代

「蜆子和尚・竜虎図」曾我二直庵筆 桃山時代

重要美術品「徳川家康・天海像」江戸時代

「平家物語絵扇面散らし」桃山時代

「名将肖像図帖」江戸時代

「虫太平記絵巻」江戸時代

「洞窟の頼朝」前田青邨筆 昭和4年

「維摩默然」下村観山筆 大正13年

重要美術品「五節句図」酒井抱一筆 江戸・文政10年

「六歌仙図」小川破笠筆 江戸時代

「藤原敏行加茂歌意・紀貫之逢坂山歌意図」冷泉為恭筆 江戸時代

「梅花の詩」西郷南洲筆 明治時代

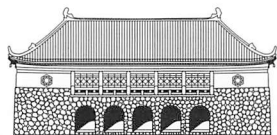
能面 中将 江戸時代

能装束 花色地破れ檜垣に笹龍胆模様狩衣 江戸時代

ほか



交通案内 東京メトロ 日比谷線 神谷町駅より7分
銀座線・南北線 溜池山王駅より8分
銀座線 虎ノ門駅より10分
南北線 六本木一丁目駅より5分



財団法人 大倉文化財団

大倉集古館

OKURA MUSEUM OF ART

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-10-3 (ホテルオークラ東京本館正面玄関前)

TEL03-3583-0781

ホームページ <http://www.hotelokura.co.jp/tokyo/>